

文書暗号変換ソフト 説明書

目次	ページ
はじめに	1
使用方法	2
khsample sed 1ed 2ed のメニュー画面の操作方法	8
1fa 2fa のメニュー画面の操作方法	1 1
困ったときは	1 3
エラーと対処方法	1 5

2021 年 4 月 20 日

(有) がるーだ

はじめに

本書では、説明が同じ個所は sed を例に説明しています。

製品名の部分はお使いの製品名に置き換えてお読みください。

バックアップの作成（重要）

製品は sed.zip の名前の圧縮ファイルとして届きます。

最初に sed.zip をコピーしてバックアップを作成して下さい。

著作権

製品の著作権は、(有)がる一だ により保護されています。

逆コンパイル等は一切禁止します。

製品とそのコピーを購入者以外に配布や販売することを禁止します。

Copyright © Since 2021 (有)がる一だ All Rights Reserved.

免責

製品を利用したことによる損害に、弊社は一切の責任を負いません。

製品の永続的なサポートや、保証の継続等のいかなる義務も負いません。

著作権と免責の同意

前述の著作権と免責に同意される方のみ利用可能です。

製品を購入したときをもって、上記の著作権と免責に同意したと見なされます。

サポート

質問は、製品名と購入の年月を付記して、下記アドレスまでメールを送って下さい。なお安全のため、メールアドレスが初回と同じでないと回答できません。

サポートの期限は購入から 1 年間です。

(有) がる一だ

E-mail

GarudaCoLtd@gmail.com

ホームページ

<https://dc.garudaltd.com/>

使用方法

本製品は Windows のパソコンで動きます。操作方法及び画像は、初期状態の Windows 10 での動作です。Windows 8.1 以前を使う場合や、外部の各種ツールを導入されている場合は、使用方法の通りでないことがあります。また、Windows 8.1 以前での使用はサポート対象外です。

khsample はフリーソフトです。sed、1ed、2ed、1fa、2fa はシェアウェアです。

シェアウェアは、購入後に送られてくるライセンスキーを入力していただくことで製品版のご利用が可能となります。

購入前(ライセンスキー入力前)は、サンプル版である khsample としてご利用いただけます。

購入前には必ずサンプル版を試用し、正しく動作することを確認してください。

購入は、Vector の各製品ページよりお願い致します。購入手続き完了後、ライセンスキーが送られてきます。購入方法は後述の 購入方法 の項を参照してください。

sed.zip の展開

sed.zip を右クリックし、メニューから すべて展開 をクリックして下さい。

開いたウィンドウの下部にある 展開(E) をクリックして下さい。

sed.zip と同じ場所に作成されるフォルダー sed のウィンドウが開きます。

フォルダー sed のウィンドウ

名前	種類
conf	ファイルフォルダー
data1.csv	Microsoft Excel CS...
data2.txt	テキストドキュメント
data3.docx	Microsoft Word ...
sed.exe	アプリケーション

※拡張子が表示されない場合は、ファイル名やファイルの種類で判断して下さい。

表示されている sed.exe の先頭のアイコンが、 であることを確かめて下さい。

でないと動きません。

※アイコンが でない場合は、展開が正しく行われていない可能性があります。

展開作業を初めからやり直して下さい。

注意

sed.zip をダブルクリックすると、上記とほぼ同じウィンドウが開きますが、sed.exe の先頭のアイコンは と違い、使うことができません。ただし、sed.exe を別の場所にコピーして、先頭に のアイコンがついたときは、フォルダー sed に入れて使うことができます。以下の説明における sed.exe は、すべて sed.exe のことです。

重要な注意

フォルダーsed のウィンドウにある sed.exe を起動（ダブルクリック）して、暗号を作成します。sed.exe を 1 度起動した後は、フォルダーsed の中にある sed.exe とフォルダーconf を変更しないでください。他のデータファイルを入れ替えるのは問題ありません。以後は、フォルダーsed とそのコピーを使うと、sed.exe を何度起動しても同じ暗号と復号を作成します。しかし、次のフォルダーsed を使うと、すでに作成した暗号と復号と同じものができません。

- ・ sed.zip を再び展開して得たフォルダーsed
- ・ sed.exe を起動する前のフォルダーsed のコピー

従って、sed.zip を持つ他者により暗号を解読されることはありません。ただし、自らも暗号を作成した フォルダーsed を消失すると、暗号を元文に戻すことが不可能になります。

暗号の作成に使ったフォルダーsed（sed.zip を展開して得た起動していないフォルダーsed や、そのコピーと違います）のバックアップ(コピー)を作成し、消失しないように注意してください。

購入方法

各製品の販売ページへ移動してください。
ページ内の購入リンクから購入手続きを行ってください。
操作は画面の指示に従ってください。

購入手続き完了後、メールでライセンスキーが送られてきます。
このメールは大変重要なものなので、紛失しないよう十分注意してください。

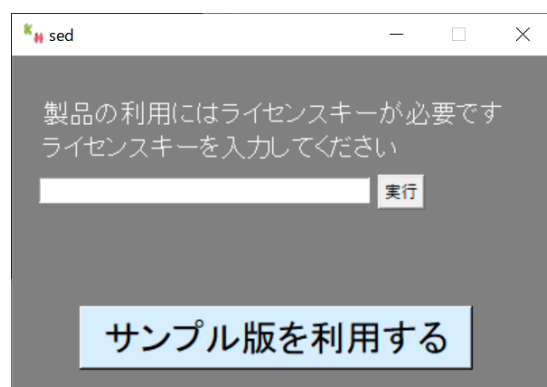
購入後は次項を参考に、ライセンスキーを適用してください。

ライセンスキーの登録方法

購入後メールで送られてきたライセンスキー
をテキストボックスに入力してください。
(コピー : Ctrl + C 貼付 : Ctrl + V)
実行 をクリックしてください。

正しいライセンスキーが入力された場合は、「ライ
センスキーが適用されました」と表示されます。
再起動後、製品版の利用が可能となります。

(ライセンスキー適用後は、起動の際に右上の画面は表示されず製品版を利用できます。
また、サンプル版の利用はできなくなるので注意してください。)



アンインストールについて

アンインストールは、外部記録媒体(USB メモリなど)にフォルダー sed のコピーを作った
後で、パソコンのすべての場所からフォルダー sed を一括して削除してください。

フォルダー sed を好きな名前（本書では sed）で適当な場所にコピーして使う

フォルダー sed をデスクトップフォルダーやドキュメントフォルダーなど適当な場所に
コピーして、好きな名前を付けて下さい。本書の説明では sed のままの名前にしています。

暗号にする元データを保存した元データファイルの作成

暗号にする元データファイルは、次のいずれかの形式で作成・保存して下さい。
ファイル操作に不慣れな場合は、フォルダー sed に保存するようにして下さい。

・テキストファイル（拡張子.txt）

メモ帳、Terapad、サクラエディタ等のテキストエディタで作成できます。

・Word 文書ファイル（拡張子.docx）

Microsoft Word(または互換ソフトウェア)で作成できます。

フォントや体裁は保持されません。

・CSV ファイル（拡張子.csv）

主に表計算ソフトウェア(Microsoft Excel 等)で作成できます。

Excel 形式のファイルを CSV に変換する場合は、フォントや罫線等は消えます。

元データファイルの作成の詳細な説明（詳しく知りたいときに読んで下さい）

元データファイルは、本製品で利用可能な文字コードで保存することが必要です。
主なソフトウェア毎の文字コード指定方法は次の通りです。

Word

指定の必要はありません。通常の Word 文書ファイル(*.docx)として保存してください。

メモ帳(notepad)

ファイルタブ → 名前を付けて保存 → 文字コード
「ANSI」「UTF-8」「UTF-8(BOM 付き)」のいずれかで保存して下さい。
デフォルトでは UTF-8 で保存されます。

Terapad

ファイルタブ → 文字/改行コード指定保存 → 文字コード
「SHIFT-JIS」「UTF-8」「UTF-8N」のいずれかで保存して下さい。
デフォルトでは SHIFT-JIS で保存されます。

サクラエディタ

ファイルタブ → 名前を付けて保存 → 文字コードセット
「SJIS」「UTF-8」「UTF-8(BOM にチェック)」のいずれかで保存して下さい。
デフォルトでは UTF-8 で保存されます。

Excel 2016 以降

ファイルタブ → 名前をつけて保存 → 保存先を選択 → ファイルの種類
→ CSV(カンマ区切り)(*.csv) または CSV UTF-8(カンマ区切り)(*.csv)
を選び「保存」をクリックして下さい。
(ファイルタブ → エクスポート → ファイルの種類の変更 でも同様の操作が可能です。)

Excel 以外の表計算ソフトウェア、または Excel2013 以前の Excel

各ソフトウェアの操作手順により csv 形式での保存を行って下さい。
CSV について分からない場合は、「困ったときは」を参照して下さい。

元データファイルの文字化けの確認

保存した元データファイルを調べて、文字化け(文字コード設定などにより、本来の字と異なる字に変わる事)がないかを確認することが重要です。

各製品の元データファイルの字数上限と個数上限、及び販売価格

製品名	元データファイルの字数上限（注）	1度に行うことができるファイルの個数上限	販売価格（円）	備考
khsample	100	10	フリーソフト	ファイルを選択して暗号にする
sed	1,000	50	1,000	
1ed	2,000	100	2,000	
2ed	8,000	200	3,000	
1fa	2,000	100	4,000	フォルダーにある全ファイルを暗号にする
2fa	8,000	200	5,000	

（注）見えない改行などが字数にカウントされるので、上限より少ない字数でも実行できない場合があります。その場合は実行時のエラー表示で分かります。

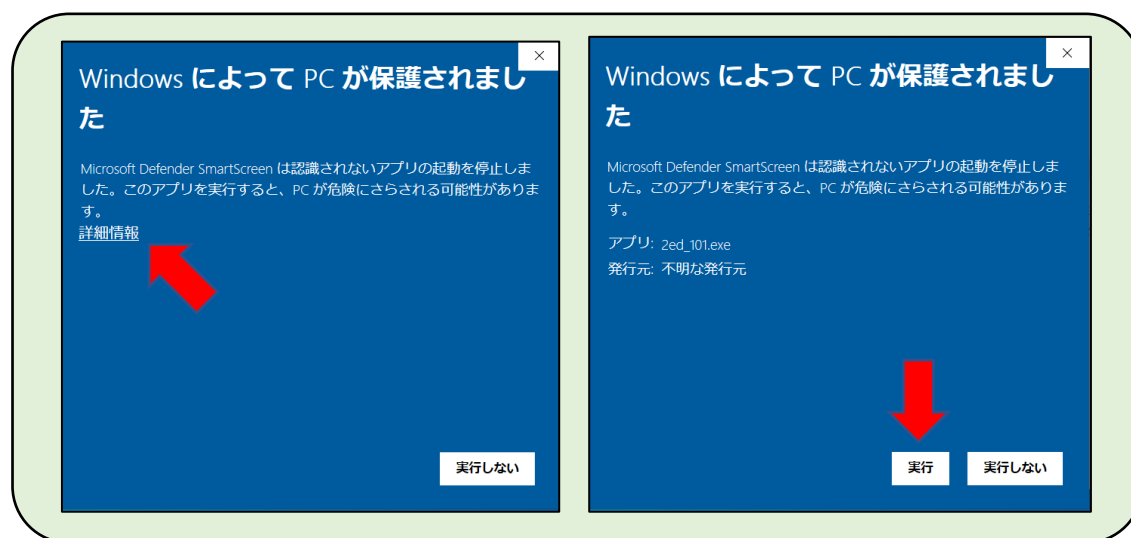
販売は、Vector 様にて行います。

製品ページへのリンクや詳細は、[ホームページ](#)をご覧ください。

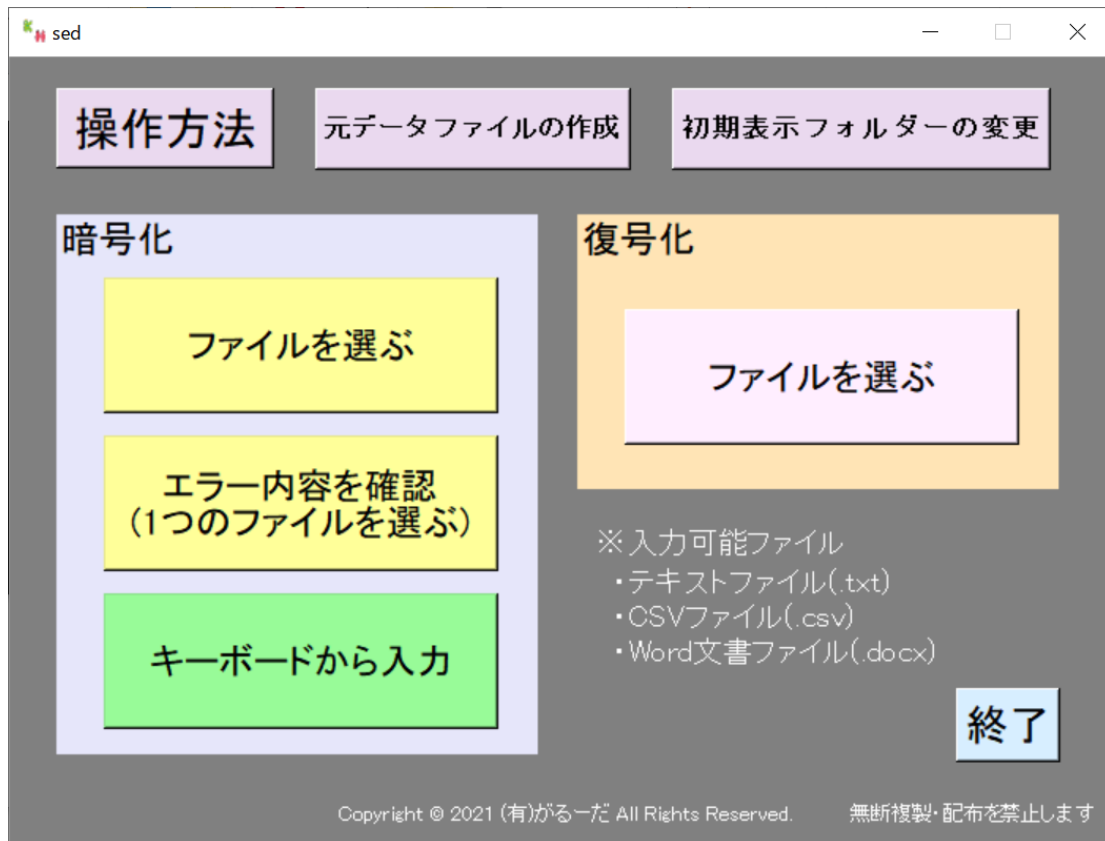
メニュー画面を開く

フォルダー sed を開き sed.exe をダブルクリックして下さい。メニュー画面が表示されます。なお初回起動時は、Windows のセキュリティ機能により次の左の画面が表示されます。左の画面の「詳細情報」をクリックすると右の画面に変わるので、「実行」をクリックすることでメニュー画面を表示できます。

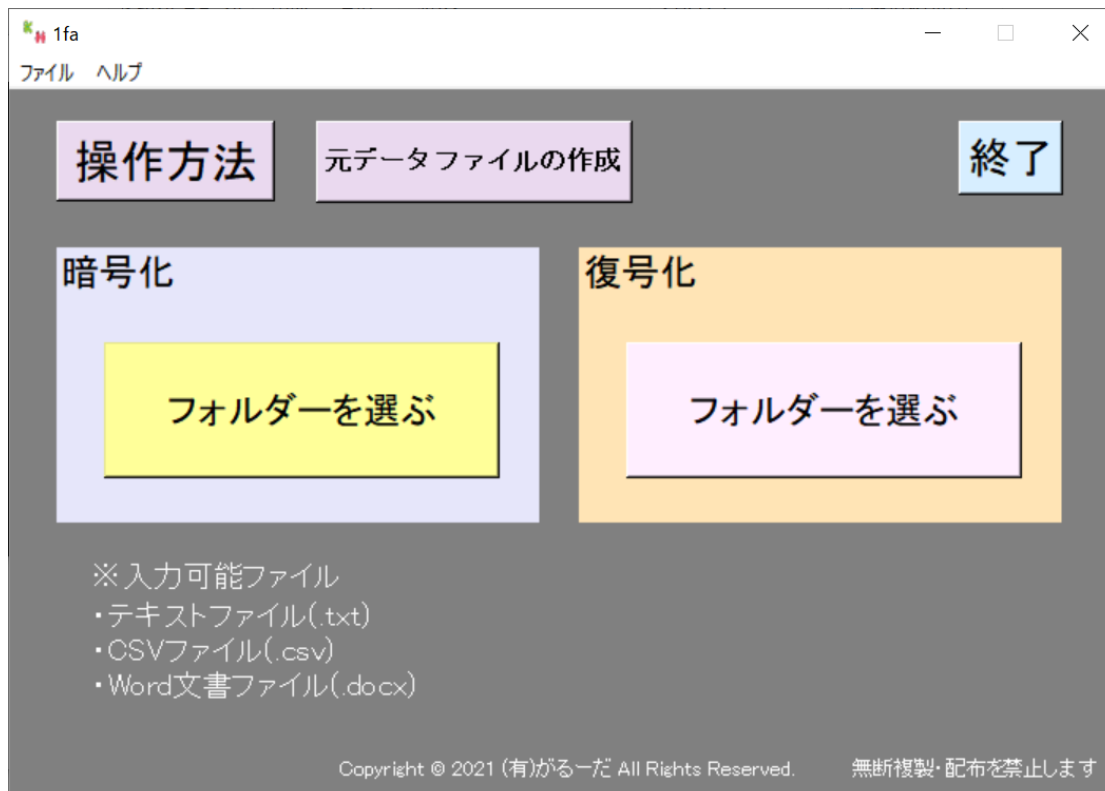
初回起動時に表示される画面



khsample sed 1ed 2ed のメニュー画面



1fa 2fa のメニュー画面



khsample sed 1ed 2ed のメニュー画面の操作方法

操作方法の説明を見るとき

操作方法 をクリックすると説明が出ます。

元データファイルの作成方法を見るとき

元データファイルの作成 をクリックすると説明が出ます。

元データファイルを暗号にするとき

暗号化の欄の ファイルを選ぶ をクリックして下さい。

ファイル選択のウィンドウが開きます。

暗号にしたい元データファイルを選択して下さい。

※クリックしたままマウスを移動することで複数のファイルを選択できます。間に対象でないファイルがある場合は、Ctrl キーを押しながらクリックすることで、選択できます。バージョンごとのファイル個数上限に注意して下さい。

開く(O) をクリックして下さい。

暗号化実行 をクリックして下さい。

処理が終了したら「終了」のボタンが出るのでクリックして下さい。

正常に終了した場合は「正常終了」が表示されます。

エラーが発生した元データファイルがある場合は、「一部エラー」の表示が出て、エラーのない元データファイルのみ暗号ができます。

暗号が入ったファイルが、元データファイルのあるフォルダーに次の名前で作成されます。

an_[元データファイル名]_[年]-[月]-[日]_[時]-[分]-[秒].[拡張子]

暗号にした元データファイルの確認のため、次の名前のファイルも作成されます。

これは元データファイルと同じはずです。

ge_[元データファイル名]_[年]-[月]-[日]_[時]-[分]-[秒].[拡張子]

ファイル選択のウィンドウに元データファイルがないとき

元データファイルが入ったフォルダーがウィンドウに表示されているときは、そのフォルダーをダブルクリックして下さい。

元データファイルが他の場所にあるときは、ウィンドウの左のメニューから元データファイルのあるフォルダーに移動し、選択してください。

初期表示フォルダーの変更をするとき

ファイルを選ぶ をクリックした際に最初に表示されるフォルダーを変更できます。

初期フォルダーの変更 をクリックして下さい。

開いたウィンドウで、設定したい適当なフォルダーを選択した後、フォルダーの選択 をクリックして下さい。

なお購入時の初期表示フォルダーはフォルダー sed になっています。

暗号にするとときに出了エラーを調べるとき（1つのファイルを選ぶ）

エラー内容を確認（1つのファイルを選ぶ） をクリックして下さい。

開いたウィンドウで、エラーを調べる元データファイルを選択して下さい。

開く(O) をクリックして下さい。

暗号化実行 をクリックして下さい。

処理が終了したら「終了」のボタンが出るのでクリックして下さい。

エラーが発生した場合はエラー内容が表示されます。

※エラーの詳細は、後の「エラーと対処方法」を参照して下さい。

なお、正常に終了した場合は「正常終了」が表示されます。

作成されるファイルは前述の「元データファイルを暗号にするととき」の場合と同じです。

キーボードからデータを入力して暗号にするとき

キーボードから入力 をクリックして開くウィンドウに、暗号にしたい文字列と任意のファイル名を入力して下さい。

※文字列の字数は、前述の元データファイルの字数上限より少なくして下さい。

暗号化 をクリックして下さい。

処理が終了したら「終了」のボタンが出るのでクリックして下さい。

正常に終了した場合は「正常終了」が表示されます。

エラーが発生した場合はエラー内容が表示されます。

※エラーの詳細は、後の「エラーと対処方法」を参照して下さい。

作成されるファイルは前述の「元データファイルを暗号にするとき」の場合と同じです。
ファイルはフォルダー sed に作成されます。

暗号を元データに戻すとき

復号化の欄の ファイルを選ぶ をクリックして下さい。

ファイル選択のウィンドウが開きます。

復号にしたい暗号データファイル(an から始まるファイル)を選択して下さい。

※クリックしたままマウスを移動することで複数のファイルを選択できます。間に対象でないファイルがある場合は、Ctrl キーを押しながらクリックすることで、選択できます。バージョンごとのファイル数制限に注意して下さい。

開く(O) をクリックして下さい。

復号化実行 をクリックして下さい。

処理が終了したら「終了」のボタンが出るのでクリックして下さい。

正常に終了した場合は「正常終了」が表示されます。

エラーが発生した元データファイルがある場合は、「エラー」の表示が出て、エラーの内容が表示されます。

※エラーの詳細は、後の「エラーと対処方法」を参照して下さい。

復号されたファイルが、暗号データファイルのあるフォルダーに次の名前で作成されます。

fu_[暗号データファイル名]_[年]-[月]-[日]_[時]-[分]-[秒].[拡張子]

終了するとき

終了 または右上の × をクリックして下さい。

1fa 2fa のメニュー画面の操作方法

操作方法の説明を見るとき

操作方法 をクリックすると説明が出ます。

元データファイルの作成方法を見るとき

元データファイルの作成 をクリックすると説明が出ます。

※ファイル操作に不慣れな場合は、フォルダーsed の中に、元データファイルを入れたフォルダーを作ってください。

元データファイルを暗号にするとき

暗号化の欄の フォルダーを選ぶ をクリックして下さい。

フォルダー選択のウィンドウが開きます。

暗号にしたい元データファイルの入ったフォルダーを選択してください。

画面下部の フォルダーの選択 をクリックしてください。

暗号化実行 をクリックして下さい。

処理が終了したことを示すウィンドウが表示されます。

正常終了 または 一部エラー の表示が出ます。

終了 をクリックすると、正常に終了して作成された暗号が入ったファイルが、元データファイルのあるフォルダーに次の名前で作成されます。

an_[元データファイル名]_[年]-[月]-[日]_[時]-[分]-[秒].[拡張子]

一部エラーの表示が出たときは、 エラー内容確認 のボタンが表示されるので、このボタンをクリックすることで、実行結果(正常終了またはエラー内容)を確認できます。

※エラーの詳細は、後の「エラーと対処方法」を参照して下さい。

※正常終了のものは上記と同様に暗号が作成されています。

選んだフォルダーに元データファイルが無いときは Error の表示が出るので、終了をクリックしてください。

暗号を元データに戻すとき

復号化の欄の フォルダーを選ぶ をクリックして下さい。

フォルダー選択のウィンドウが開きます。

復号したい暗号データファイル(an ファイル)の入ったフォルダーを選択してください。

画面下部の フォルダーの選択 をクリックしてください。

復号化実行 をクリックして下さい。

正常終了 の表示が出るので、 終了 をクリックしてください。

復号されたファイルが、暗号データファイルのあるフォルダーに次の名前で作成されます。

fu_[暗号データファイル名]_[年]-[月]-[日]_[時]-[分]-[秒].[拡張子]

復号されるのは、先頭に an の付いた暗号データファイルです。後に続く 年月日時分秒のデータが異なる同じファイル名の暗号データファイルが2つ以上あるときは、上書きされ、最後の1つだけが保持されます。

選んだフォルダーに暗号データファイルが無いときは Error の表示が出るので、終了 をクリックしてください。

終了するとき

終了 または右上の × をクリックして下さい。

困ったときは

1) パソコンのセキュリティ機能によりブロックされて動かない。

- ・ソフトウェアの初回起動時に Windows の機能によりブロックされた際は、前述のメニュー画面を開く の説明に従って、解決できます。
- ・セキュリティソフトウェアの機能においてブロックされた場合は、当ソフトウェアの入っているフォルダーを例外に設定、または保護を無効にするなどして対処して下さい。

2) sed.exe をクリックして実行しようとしたが動かない。

- ・パソコンを再起動して下さい。
- ・再度 zip の展開作業からやり直して下さい。
- ・上記で解決しない場合は購入した製品名と購入の年月を付記して、[メール](#)にてお問い合わせ下さい。

3) sed.exe をコピーして別の名前を付けたものが動かない

- ・同じ名前でコピーすると動きます。別の名前にしたのは、動きません。

4) 元データファイルの大きさが限度を超えたため動かない

- ・元データファイルの字数の上限を、前述の通りにして下さい。
- ・改行など見えない文字数カウントを含めて、上限以下にして下さい。
- ・上限を超えた字数のデータを暗号にするには、字数上限を超えないように分割して、元データファイルを複数作成して下さい。暗号のファイルは、1つでなく複数になります。

5) 復号がうまくできない

- ・暗号のファイル名の先頭の3字は、an_ (a と n とアンダーライン)でなければなりません。

6) 復号したものが元データと違う

- ・元データファイルを、文字化けがないように間違いのないものにして下さい。
- ・暗号化のときに出力される ge から始まるファイルが、元データファイルと同じかどうかを調べて下さい。
- ・暗号化と復号化を行い、ge から始まるファイルと、fu から始まるファイルと、元データファイルが同一であるかを調べて下さい。

7) CSV が分らない (CSV ファイルをテキストエディタで作成する方のみお読み下さい)

CSV は Comma Separated Value の略です。

各項目間がカンマ(,)で区切られたデータのこと、列方向は半角カンマ(,)で区切り、行方向は改行で区切られます。

各項目は原則ダブルクォーテーション(") 2 つで囲む必要がありますが、項目内にカンマ(,)やダブルクォーテーション(")、改行が含まれていない場合は省略が可能です。

テキストエディタで作成・編集をする場合はこのことに十分留意する必要があります。

例

原則各項目は下記のようにダブルクォーテーション(") 2 つで囲みます。

"1","2","3"

"りんご","バナナ","苺"

"1,000","200","3,000"

1	2	3
りんご	バナナ	苺
1,000	200	3,000

例外的にデータ内にカンマ(,)やダブルクォーテーション(")、改行が含まれていない場合は下記のように省略が可能です。

1,2,3

りんご,バナナ,苺

"1,000","200","3,000"

(「1,000」、「3,000」はカンマ(,)が含まれているため省略不可。)

データ内にダブルクォーテーション(")が含まれている場合、データ内のダブルクォーテーション(")は 2 つ重ねる必要があります。

This is "Oseti".

↓

"This is ""Oseti""."

※Microsoft Excel 等の表計算ソフトウェアで作成・編集する場合には、これらのことは保存時にソフトウェア側が自動で行ってくれる場合が多いため、意識する必要はありません。

8) 終了の方法が分からない

メニュー画面の 終了 またはウィンドウ右上の × ボタンをクリックして下さい。

「システムを終了してもよろしいですか?」という確認メッセージが表示されるので、 はい をクリックして下さい。

エラーと対処方法

エラー	対処方法
文字コードが正しくありません	文字コードが正しくありません。文字コードは UTF-8 または Shift-JIS で保存して下さい。
ファイル読み込み Error	ファイルの読み込みができませんでした。前述の文字コードの確認や、後述の空白のファイルでないかなどを確認して下さい。
文字が入力されていません	空白のファイル(文字の入力がないファイル)が指定されています。ファイルを確認して下さい。
中断されました	ユーザーの操作により、処理が中断された場合に表示されます。誤って処理を中断してしまった場合は、操作を最初からやり直して下さい。
an ファイルではありません	復号化のときに、暗号ファイル以外が指定されています。選択したファイルが暗号ファイルであることを確認して下さい。 暗号ファイルは先頭 3 文字が必ず“an_”である必要があります。
文字またはファイル名がありません	文字またはファイル名の記入漏れを確認して下さい。記入漏れがあった場合実行できません。
文字数エラー	各製品に文字数の上限があります。 元データを上限内の字数に分割して、部分ごとの元データを複数作成し暗号化して下さい。 あるいは、字数の大きい元データを使える製品を購入して下さい。 改行などの見えない文字数カウントがあります。その場合は文字数を減らして下さい。

実行する文字数、ファイル数、お使いのコンピュータのスペック等により、ソフトウェアの起動や処理に時間がかかる場合があります。それらを踏まえたうえで処理が終了しない場合やソフトウェアが起動しない場合などは、お手数ですが購入した製品名と購入の年月を付記して、[メール](#)にてお問い合わせください。

また、ここにはないその他のエラーや予期せぬエラーが発生した際、及びバグや不具合を発見された際も同様に、お手数ですが購入した製品名と購入の年月を付記して、[メール](#)にてお問い合わせください。